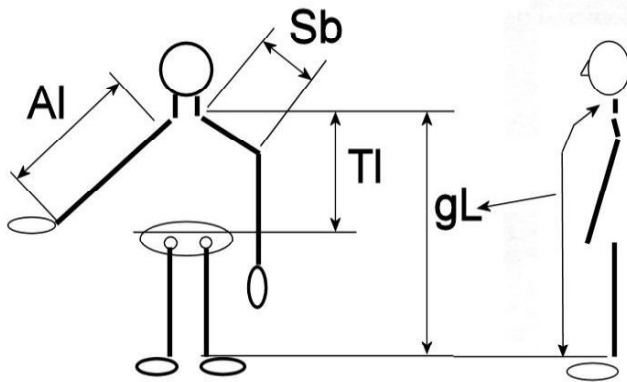


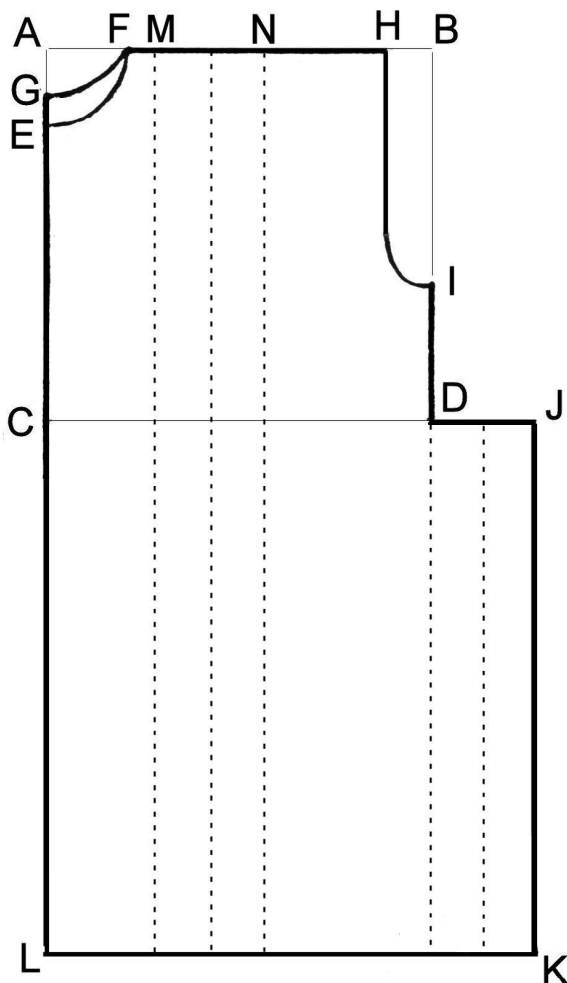
オイリュトミー・クライトの作り方(男性用)

1. 採寸

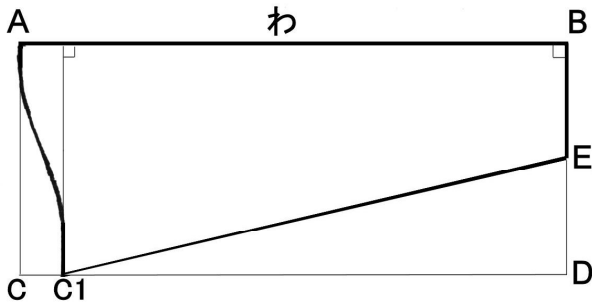
- Ow(Overweite) 胸囲
 Tl(Tailenlaenge) 首の付け根から腰骨まで
 Sb(Schulterbreite) 首の付け根から肩先
 gL(ganze Laenge) 首の付け根(鎖骨)から足首(くるぶし)
 Al(Armlaenge) 肩先から手首



2. 型紙



- A ~ B $Ow/4 + 2cm(余裕) + 10cm(タック)$
- A ~ C = B ~ D = Tl
- A ~ E 7cm(前身頃)
- A ~ F 7cm
E ~ F をカーブで結ぶ
- A ~ G 3cm(後身頃)
G ~ F をカーブで結ぶ
- F ~ H Sb + 10cm(タック) + 1cm(余裕)
- A ~ M B.P.間長 / 2(タックの縫い目位置)
- M ~ N 10cm(タック)
- B ~ I 25cm + α (肩幅が広い場合)
- A ~ L gL + 縫い代
- L ~ K 布幅 / 2
最低 45cm(布幅 90cm)は必要



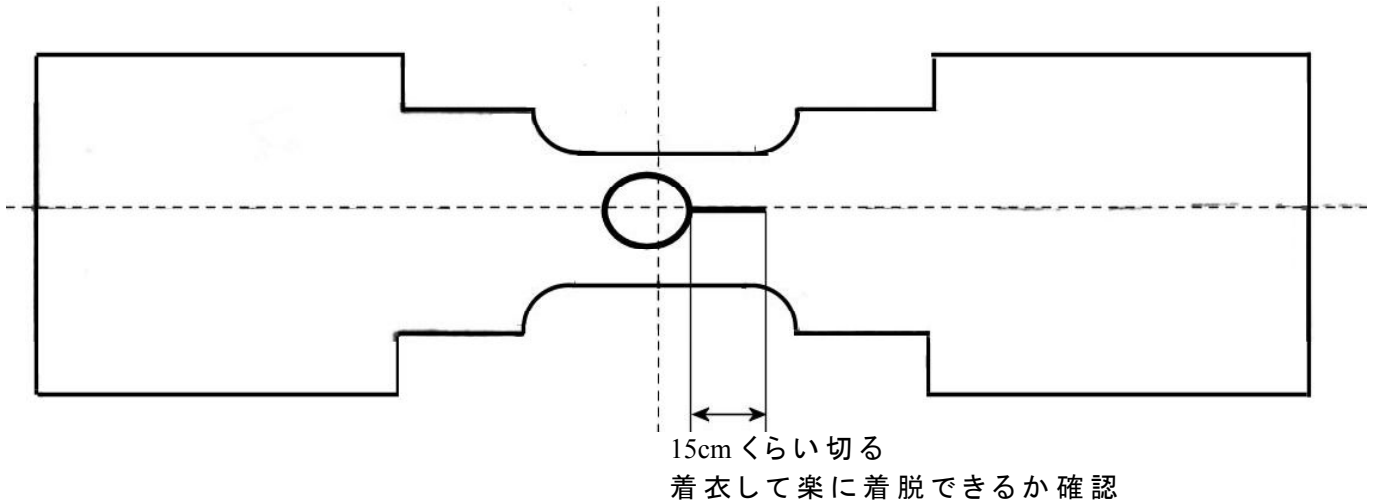
- A ~ B AI + 5cm (着衣して調整)
フック付け補強のための折り返し部分も考慮しておくこと(+5cm程)。
- A ~ C 25cm + α (肩幅が広い場合)
- C ~ C1 2cm
- B ~ E 15cm

※その他、襟の見返しと帯の分の布が必要。

3. 裁断

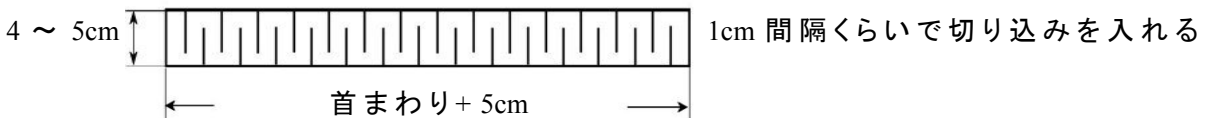
断つ前に、布を洗い、陰干ししてアイロンをかけておく(地なおし)。

a. 本体：布を四つ折りにして、型紙をあて縫い代を取って断つ。



b. 腕：布を二つ折りにして、型紙をあて縫い代を取って断つ。

c. 襟：a.で断った本体を着衣して、首まわりがきつすぎないか確かめる(縫い代を考慮)。
本体の布の首まわりを測り 5cm 足して、薄手の紙で下図のようなものを作る。



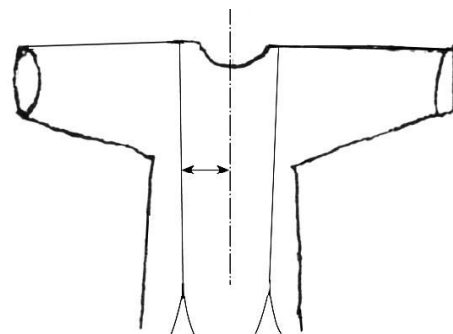
これを適当に曲げて別の厚紙の上に置き、襟の型紙を作る。



d. 帯：できあがり幅は 4 ~ 7cm だが、広めにして結ばずにフック等で止めるものが好ましい。

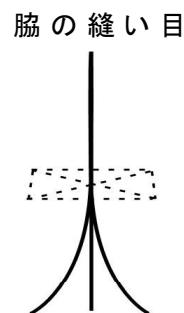
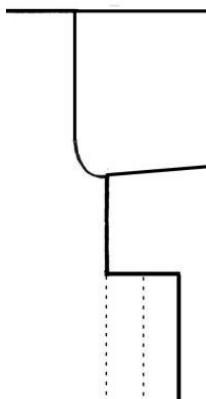
4. 縫い

a. 胸の中心から B.P.(バストポイント)までを測り、そこにタックの縫い目がくるようにする。
 長さはほぼウエスト位置まで、内側に折り込んで縫う。

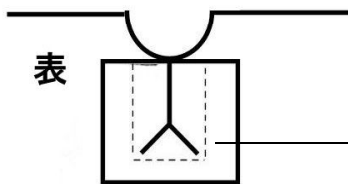
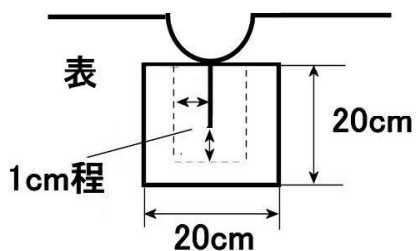


b. 腕を本体に縫いつけ、腕の下、脇を縫い合わせる。

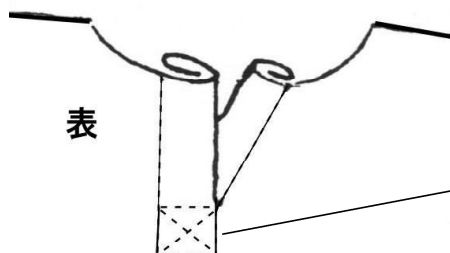
c. 腰下脇のタック部分を内側に折り込んで、上部をしっかりと縫い込んでおく。



d. 本体後ろ側の表に 20cm 四方ほどの布をあてて縫いつける。



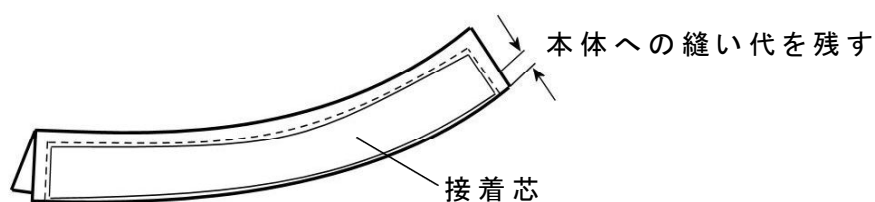
縫い合わせたら切り込みの下端に二又の切れ目を入れる



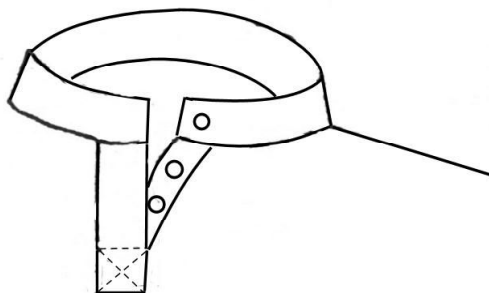
当て布を裏側に折り込んで、ホックを付けられるように重ね合わせて縫う。

下の部分はしっかりと縫い合わせておく。

- b. 裁断した2枚の襟布(表面側には接着芯を貼る)を重ね合わせ、上と両脇を縫い合わせて、表に返す。



襟を本体に縫い合わせる。ホック等を2、3カ所に付け、後ろ側で止まるようにする。



- f. 裾と腕先を内側に折り込んで、まつり縫いをする。

裾はくるぶしまで。短くなりすぎないように(床から10cm以上にならないよう)。

- g. 腕先をホックで止まるようにする。

